志賀
弩蛇
蒙能
種員作
十編上
へ13
1178
19
賀
當
黎
國貞画
十編下
へ13
1178
20

へ13
1178
19

特
へ13
178
19

蝸牛の両角ハ國を取る者あり左を觸氏と曰右を蠻氏と曰地を爭て
戰ひ伏尸て數万ハ及び北るを遂ること旬五日ハ〆て後反る少〻是寓言の
魁首ハ荘子が則陽篇ハ見えたり僕活業の諸言の委流太頃閑
説一部の小説事舊たる欣考くぬひの気紫乃地名を假借事跡を大
友菊地ハ託せ蝸牛の角は國ハ等く両雄妻鬪杯毫ハ任せ一妄
談無好所戯墨の稗史も時あらて僅ニ售ク童兒が捕へ一蝸牛の
角ざせ棒ざせ笑れあらて可出冊可出稿と催立る書房が使乃
繁度ハ困〻ろ最倉卒ハ此編を綴全一當下微降梅雨ニ小篠
をうるに彼虫を見いで即刻ハ斯ハ良〻つ
ゆ何里なゆむ所は鄙はあるもの

嘉永辛亥皐月結稿
同　壬子泰月發兒

柳下亭種員記

錦ヶ嶽の蛭蟠
若那嬢子が危急を助ふ
白縄大盡実は若那姫
花柳村の千種実は鳥山秋作

乳母秋篠が霊魂
鳥山恩忠の必死を救ふ

此国の赤橋内膳が若菜姫へ物語の内

そ太宰の少貳が悪行の体

三つぬひ繻

五拾四編ヨリ柳亭種彦作
六十編マテ 一恵齋芳幾画

兩面織花田物語

初編ヨリ同
五編迄 作
近刻 同 画

假名淫八犬伝

三十編ヨリ假名垣魯文録
三十五編マテ 朝霞楼芳幾画

古今俳優似顔大入全

故豐國公羽筆
大錦百三番續

太平記英勇傳

中錦山々亭有人記
百番續 恵齋芳幾圖

賀當黎

國貞画

十編下

へ13
1178
20

1178
20

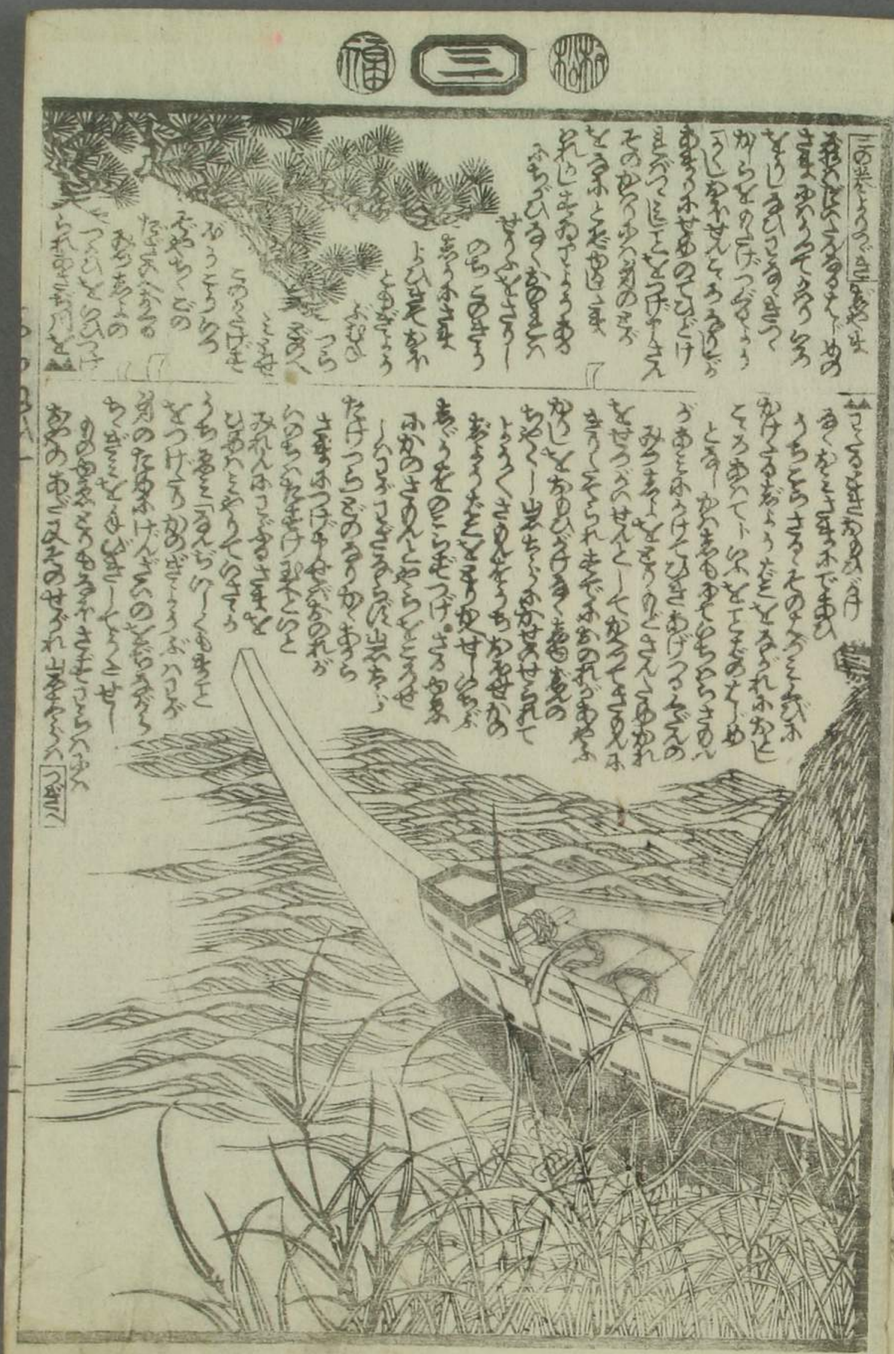
縫譚

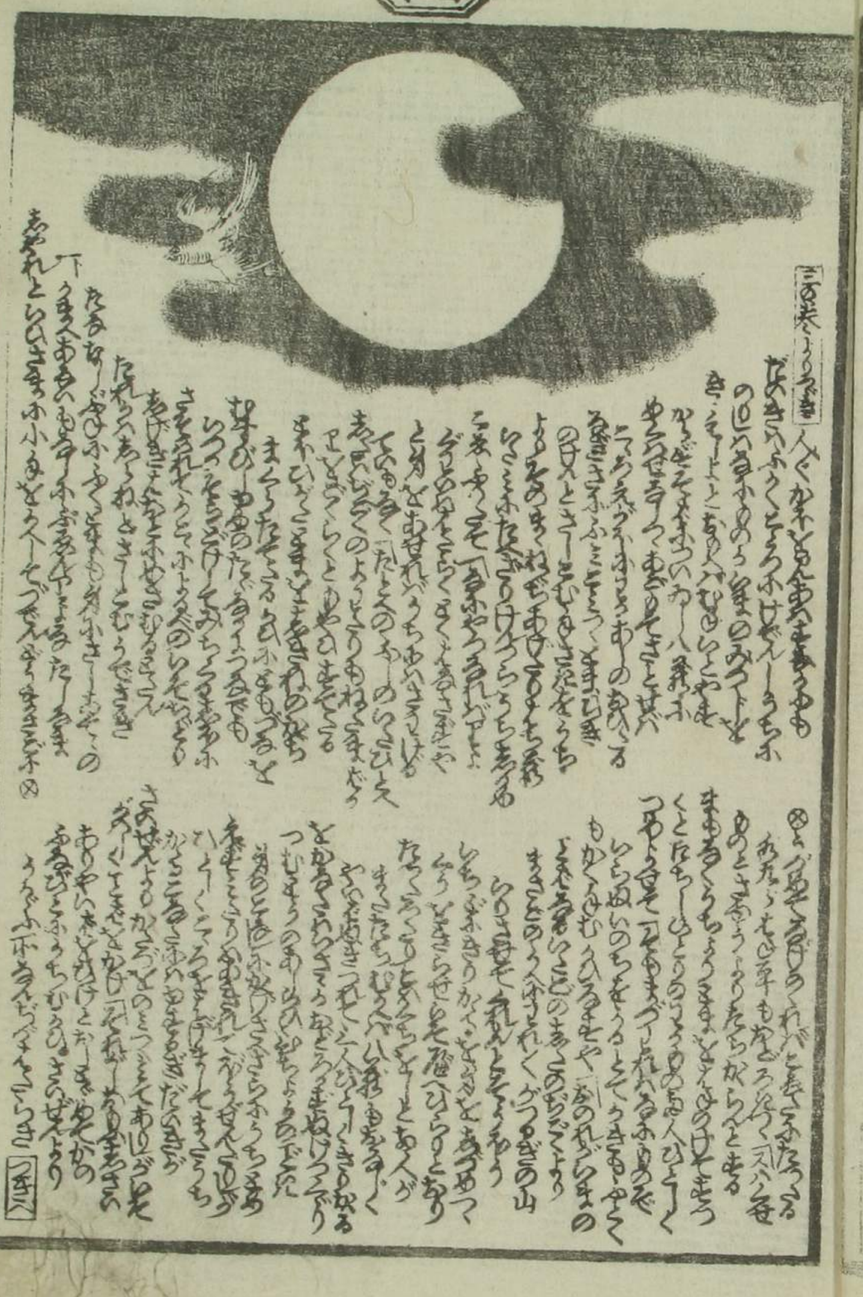
種員作

国貞画

拾篇

下冊





振袖の名記

名響の義賊ハ
柿木金輔

名誉の孝女ハ
技三豆秋市

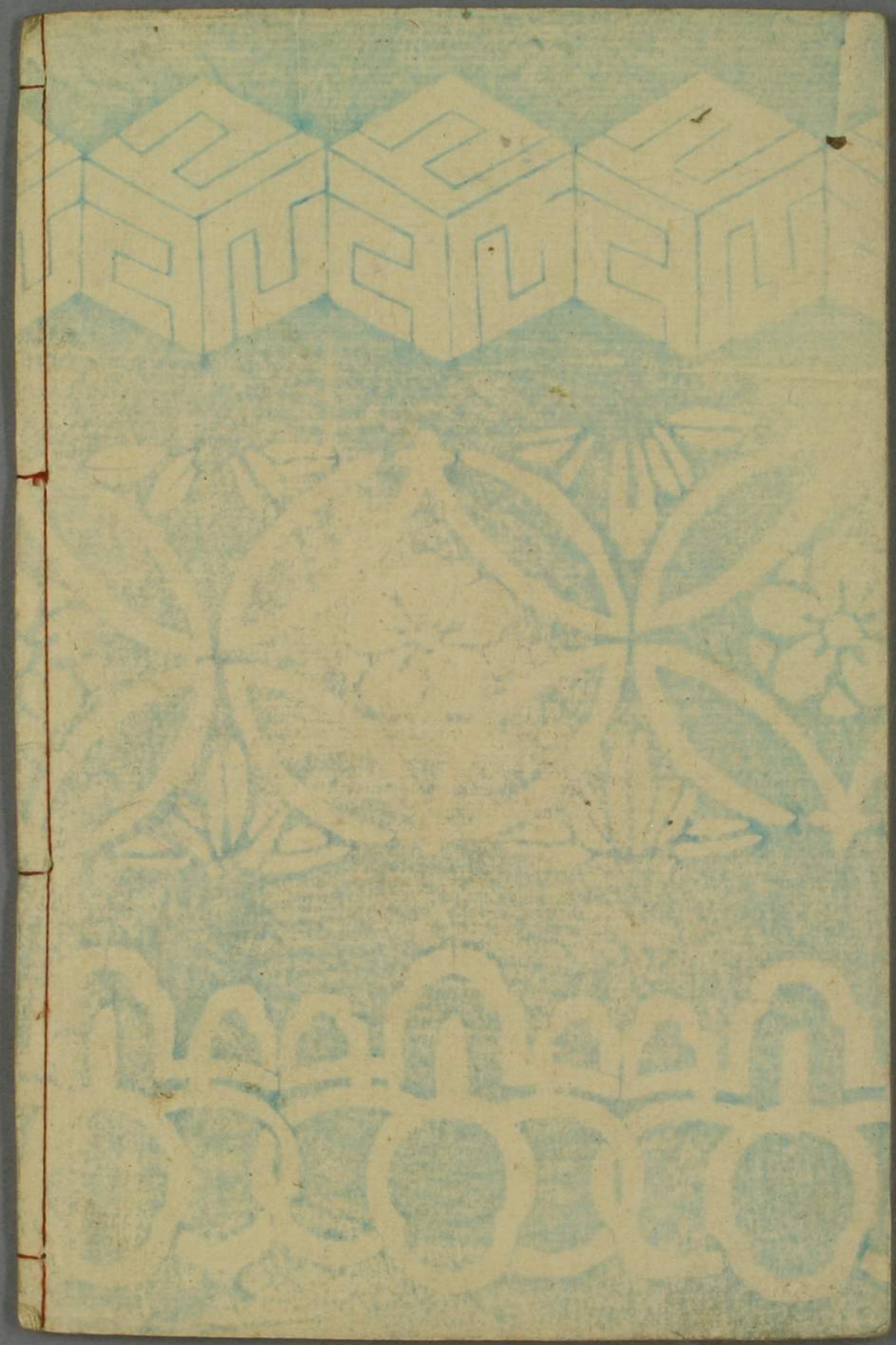
浪華黄金虎

三編讀切

朝霞楼芳幾画

瀬川如皐　山々亭有人　恵齋芳幾　合
梅素玄魚　松湖交来　假名垣魯文　作
可竹其水

一對男の縁ゑ因て戯作劇場を一様ゑ竹林あらぬ七軒人が一回五葉を持きりの
合作全備の三編冊　初編　初ヨリ五ヘめ迄　其水作同十ヘめ迄　有人作同十ヘめ迄　交来作
同十六ヘめ迄　芳幾作同十ヘめ迄　魯文作同十ヘめ迄　其水同十六ヘめ迄　有人
同十ヘめ迄　如皐作　二編　初ヨリ五ヘめ迄　魯文作同十ヘめ迄　如皐同十五ヘめ迄　魯文同十六ヘめ迄　其水如斯ゑ持場ゑ
三編　初ヨリ五ヘめ迄　方ノ魚作同十ヘめ迄　如皐同十五ヘめ迄　魯文同十六ヘめ迄　其水同十六ヘめ迄　有人
定め豆ゑ筆力をはくし浮當藏板のあらぬ同様御高評を希ふ

江戸深川佐賀町
廣岡孫壽助梓

地本草紙問屋